

第36回倫理創成研究会
「トラウマを語る／語らないことと支援者の役割
ノン・アスベスト社会のために (VI)」

〈趣旨〉

本研究会は、倫理創成プロジェクトの第36回倫理創成研究会として、また大学院教育改革支援プログラム「古典力と対話力を核とする人文学教育」のフォーラムとして開催されます。

倫理創成プロジェクトでは、多様な分野の研究者と幅広く連携しながら、地震災害やアスベスト被害の経験を踏まえた安全文化の創成に関わる研究を積み重ねてきました。

今回のフォーラムでは、トラウマを語る声を聞き取るということや研究者に求められる支援者の役割について、精神医学の観点から宮地尚子先生にご講演をいただき、話し合う機会を持ちたいと思います。

講演タイトル：「トラウマを語る／語らないことと、
支援者の役割」

講演者：宮地 尚子（一橋大学大学院社会学研究科地域社会
研究専攻・教授）

日時：2010年6月7日（月） 17時から19時まで

場所：神戸大学文学部A棟1階 学生ホール

コメンテーター

キム ヨンス（京都精華大学大学院芸術研究学部ストーリーマンガ学科）

大家 慎也（神戸大学人文学研究科博士前期課程）

本林 良章（神戸大学人文学研究科博士前期課程）

宮地尚子
環状島
トラウマの地政学



みすず書房

〈講演者のプロフィール〉

宮地尚子（みやじ・なおこ）

一橋大学大学院社会学研究科地域社会研究専攻・教授。精神科医。医学博士。専門は文化精神医学、医療人類学、ジェンダーとセクシュアリティ。著書に『環状島＝トラウマの地政学』（みすず書房、2007年）をはじめ、『異文化を生きる』（星和書店、2002年）、『トラウマの医療人類学』（みすず書房、2005年）など多数。

主催：神戸大学人文学研究科 倫理創成プロジェクト

共催：神戸大学人文学研究科 文部科学省大学院教育改革支援プログラム「古典力と対話力を核とする人文学教育」
神戸大学ESDコース

独立行政法人日本学術振興会 日仏共同研究『日仏二社会の珪肺・アスベスト疾患—空間的マッピングと人文学的研究—』

お問い合わせ先：神戸大学文学部倫理創成プロジェクト

URL: <http://www.lit.kobe-u.ac.jp/ethics/index.html>

E-mail: piek@lit.kobe-u.ac.jp TEL: 078-803-5564

